

VivaFix™ Cell Viability Assays

バイオ・ラッドのVivaFix cell Viability Assays(細胞生存率)は、フローサイトメトリー及び顕微鏡下で哺乳類動物細胞の生存率を高感度に測定します

VivaFix Cell Viability Assayの利点

- 死細胞と生細胞集団の最適分離を実現。
- 細胞固定での測定にも対応。
- 色素の選択の難しいマルチカラー実験にも対応できる8つの異なる励起/蛍光波長の組み合わせ。

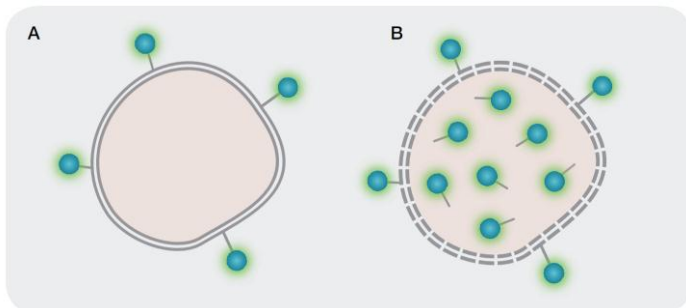
より詳細についてはWebページをご参照ください。
www.bio-rad.com/vivafix

BIO-RAD

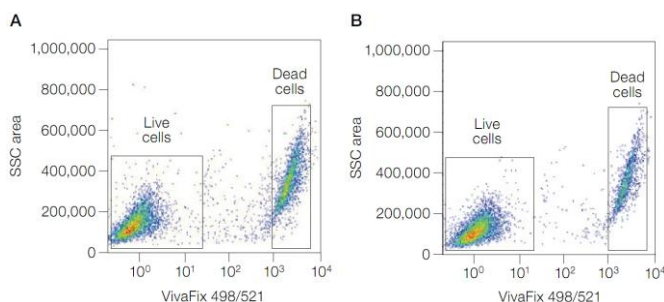
サンプルの細胞生存率を正確に測定

独自のアミン反応性色素配列を利用して、VivaFix細胞生存率アッセイは簡単に、生細胞と死細胞を分離します。2群集間の蛍光強度の少なくとも100倍の差を設けることで、研究者を支援することができます。また、VivaFix色素の明るさは、固定液で処理しても維持され、定着後の細胞生存率を追跡するためにバイオハザード試料と共に使用することができます。

VivaFixアッセイは、幅広い範囲の励起/蛍光スペクトル製品があり、容易に任意の多色実験に組み合わせることができます。実験のために最も適切な励起/蛍光波長を選択するために、8種類のアッセイのいずれかを選択することができます。



VivaFix細胞生存率アッセイケミストリー:
A:VivaFix色素は生細胞表面n-一次アミンに結合する;
B:原形質膜が損なわれた死細胞では、VivaFix色素は細胞質内に浸透することができ、また、細胞質内の第一級アミンと反応する。その結果、死細胞ではより多くの蛍光を発するため、生細胞と死細胞との間で蛍光強度の少なくとも100倍の差が生じることにより二つの集団の間で容易に識別が可能となります。



VivaFix細胞生存率アッセイを使用した生細胞と死細胞の間に優れた分離。

Jurkat細胞を固定し、VivaFix498/521色素を用いて染色した。(A)3.7%ホルムアルデヒドで固定した。(B)未固定サンプル。S3™セルソーターで分析した。SSCは側方散乱光。

Ordering Information

カタログ番号	品名	励起波長 (nm)	蛍光波長 (nm)	最適励起レーザー (nm)	S3 488/561nm	価格
135-1111	VivaFix 453/442	353	442	355	-	¥25,000
135-1112	VivaFix 410/450	410	450	405	-	¥25,000
135-1113	VivaFix 408/512	408	512	405	-	¥25,000
135-1114	VivaFix 398/550	398	550	405	-	¥25,000
135-1115	VivaFix 498/521	498	521	488	FL1(525/30)	¥25,000
135-1116	VivaFix 547/573	547	573	561	FL2(586/25)	¥25,000
135-1117	VivaFix 583/603	583	603	561	FL3(615/25)	¥25,000
135-1118	VivaFix 649/660	649	660	640	-	¥25,000



バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社
 ライフサイエンス事業部

Visit us at <http://discover.bio-rad.co.jp>

本社	〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セフトタワー	TEL:03-6361-7000	FAX:03-5463-8480
大阪営業所	〒532-0025 大阪市淀川区新北野1-14-11 第一生命ビル	TEL:06-6308-6568	FAX:06-6308-3064
福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-28	TEL:092-475-4856	FAX:092-475-4858
	*学術のお問い合わせは	TEL:03-6404-0331	FAX:03-6404-0334

取扱店